

## 薬効類似に関する事例の発生場面と医薬品の交付の有無

ヒヤリ・ハット事例のうち、事例の内容が「薬剤取違い」であった事例が1,372件報告されています。(集計期間：2010年1月1日～2010年12月31日)

このうち、薬効類似<sup>注)</sup>に関する事例364件について、ヒヤリ・ハットが発生した「発生場面」と患者に調剤した医薬品の交付の有無を示す「実施の有無」を下表に示します。なお、医薬品を交付した「実施あり」の割合が多かった「注射薬調剤」については、赤色で示しています。

注)「薬効類似」とは、販売名として報告された「処方された医薬品」と「間違えた医薬品」の個別医薬品コードの先頭4桁から6桁が一致する医薬品をいいます。

発生場面	実施の有無	実施あり (投薬あり)	実施なし (投薬なし)	計
内服薬調剤		23	174	197
外用薬調剤		16	80	96
注射薬調剤		7	4	11
その他の調剤に関する場面		17	43	60
計		63	301	364

注射薬を投薬した主なヒヤリ・ハット事例を以下に示します。

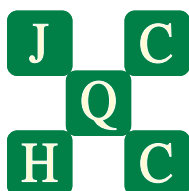
### 事例

週2回の注射薬の在庫管理チェックをしていた時、ノボリン30R注フレックスペンが2本多く、ノボラピッド30ミックス注フレックスペンが2本少なかったことに気づいた。そこで、薬剤使用者リストを検索すると、当該患者と推測されたため、すぐに連絡した。幸い、そのまま冷蔵庫に保管しており、未使用であった。すぐに患者宅に取替えに行き、お詫びをした。

### 事例が発生した薬局の取り組み（改善策）

- 注射薬点検が役に立ったため、これからも継続していく。
- 注射薬ラベルと処方せん、薬歴の確認を再度徹底する。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成22年年報」P117図表2-7を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部  
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) F A X：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>